

野菜の需給・価格動向レポート(平成25年8月5日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	7月の価格情報				生育及び価格の8月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均 販売価格						
		上旬	中旬	下旬				
葉 茎 菜	キャベツ 	74.19	98	81	92	・入荷見込量: 15,180t (98) ・主産地: 群馬 (74)、岩手 (17)、北海道 (5)	・群馬産は、最近の適雨と気温の上昇により生育が回復し、今後は順調な出荷となり、中下旬にピークを迎え、出荷量が増加する見込み。岩手産は、曇雨天の影響で、玉の肥大が進まず小玉傾向で、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。	
		88.91	104	89	97	・入荷見込量: 4,200t (98) ・主産地: 群馬 (69)、長野 (27)	・群馬産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。 (※トピック欄参照)	
	ねぎ 	273.33	364	382	313	・入荷見込数量: 4,180t (97) ・主産地: 茨城 (42)、青森 (22)、北海道 (7)、秋田 (4)、千葉 (4)、輸入 (4)、埼玉 (3)	・茨城産は、適雨により生育が回復傾向ではあるものの、出荷の終盤を迎え徐々に出荷量が減少する見込み。青森産は、生育の遅れによりやや少なめの出荷となっており、徐々に出荷量が増加するものの、平年には届かない見込み。	
		342	355	383	371	・入荷見込数量: 200t (97) ・主産地: 香川 (32)、徳島 (16)、三重 (12)、大阪 (12)、奈良 (9)、高知 (7)	・青森産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	はくさい 	58.89	71	75	97	・入荷見込量: 5,400t (95) ・主産地: 長野 (88)	・長野産は、適雨もあり、生育は回復傾向となっているものの、高温と少雨の影響で小玉傾向となっており、今後も少なめの出荷の見込み。	
		62.78	73	75	98	・入荷見込量: 2,600t (100) ・主産地: 長野 (99)	・長野産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	ほうれんそう 	583.95	741	595	637	・入荷見込量: 780t (98) ・主産地: 栃木 (30)、群馬 (25)、茨城 (13)、岩手 (12)	・栃木産は、最近の曇天の影響で葉肉が薄く茎も細め傾向で、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。群馬産及び茨城産は、順調な出荷の見込み。岩手産は、曇雨天の影響で生育が停滞し、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。	
		670.86	831	636	630	・入荷見込量: 430t (111) ・主産地: 岐阜 (84)、北海道 (11)	・群馬産及び茨城産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
	レタス 	120.13	149	157	126	・入荷見込量: 9,290t (95) ・主産地: 長野 (85)、群馬 (12)	・長野産は、6月の少雨時に定植したものの出荷の時期となり、根の活着が悪く小玉傾向で、少なめの出荷となっているものの、今後は生育が回復し、出荷量が増加する見込み。群馬産は、気温の上昇に伴う品質低下が懸念されるものの、生育が順調で、平年並みの出荷の見込み。	
		125.61	169	172	129	・入荷見込量: 1,850t (93) ・主産地: 長野 (99)	・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
	たまねぎ 	84.85	78	81	85	・入荷見込量: 8,870t (105) ・主産地: 北海道 (39)、兵庫 (23)、佐賀 (21)、輸入 (8)	・北海道産は、8日から出荷の開始で、本格的な出荷は下旬からとなるが、7月の少雨の影響で当面は小玉傾向となる見込み。兵庫産は、生育時の少雨の影響でやや小玉傾向であるものの、前年を大幅に上回る出荷となっており、今後も多めの出荷となる見込み。	
		84.85	86	82	92	・入荷見込量: 3,200t (114) ・主産地: 兵庫 (76)、北海道 (16)	・兵庫産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。	
果 菜	きゅうり 	210.69	268	254	275	・入荷見込量: 9,110t (98) ・主産地: 福島 (43)、岩手 (22)、秋田 (12)、宮城 (5)	・福島産は、気温の低下により生育が停滞し、肥大不足で、少なめの出荷となっている。今後は、ピークに向けて出荷量が増加する見込み。岩手産及び秋田産も、曇雨天の影響により、少なめの出荷で、今後は気温の上昇とともに出荷量が増加するものの、平年には届かない見込み。	
		221.71	270	223	212	・入荷見込量: 2,100t (89) ・主産地: 福島 (37)、愛媛 (22)、北海道 (21)、山形 (6)	・岩手産及び秋田産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	トマト 	229.51	377	367	353	・入荷見込量: 10,730t (94) ・主産地: 青森 (25)、福島 (16)、北海道 (14)、群馬 (10)、岩手 (10)、秋田 (7)、千葉 (7)	・青森産は、最近の曇雨天の影響で少なめの出荷となっており、今後は天候の回復により出荷量が増加するものの、平年よりは少ない見込み。福島産も、曇雨天の影響により着色遅れ、小玉傾向で、少なめの出荷となっており、今後は出荷量が徐々に増加するものの、平年には届かない見込み。北海道産は、作付面積が増加し、生育も順調で、平年を上回る出荷の見込み。	
		271.33	390	392	337	・入荷見込量: 2,300t (95) ・主産地: 岐阜 (38)、北海道 (32)、岡山 (15)	・青森産及び福島産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	なす 	209.55	416	296	299	・入荷見込量: 5,520t (100) ・主産地: 栃木 (31)、茨城 (25)、群馬 (24)、埼玉 (9)	・栃木産及び茨城産は、生育が順調で、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、最近の曇天の影響で少なめの出荷となり、中旬までは少なめの出荷の見込み。	
		221.72	341	284	248	・入荷見込量: 1,300t (96) ・主産地: 徳島 (24)、山梨 (23)、京都 (10)、大阪 (9)、奈良 (9)、福島 (8)、愛媛 (6)	・栃木産及び茨城産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
	ピーマン 	251.5	433	473	350	・入荷見込量: 2,170t (100) ・主産地: 岩手 (51)、青森 (16)、茨城 (15)、福島 (12)	・岩手産及び青森産は、低温と曇雨天の影響で少なめの出荷となっており、今後は出荷量の増加が見込まれるものの、平年より少なめの出荷の見込み。	
		266.65	416	441	298	・入荷見込量: 510t (99) ・主産地: 兵庫 (18)、青森 (17)、北海道 (13)、愛媛 (11)、大分 (11)、福島 (7)、鳥取 (6)	・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	根 菜	だいこん 	94.6	108	77	78	・入荷見込量: 9,310t (95) ・主産地: 北海道 (69)、青森 (22)、岩手 (6)	・北海道産は、順調な生育で、平年並みの出荷となり、今後も順調な出荷の見込み。青森産は、7月の高温の影響で正品率が下がり、少なめの出荷となっているものの、今後は天候の回復により、出荷量が増加する見込み。
			100.39	108	79	79	・入荷見込量: 3,000t (105) ・主産地: 北海道 (77)、岐阜 (11)、青森 (9)	・順調な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		にんじん 	133.01	132	111	107	・入荷見込量: 6,390t (90) ・主産地: 北海道 (82)、青森 (15)、輸入 (2)	・北海道産は、産地の切り替わり時期だが、帯広方面の播種の遅れから出荷の谷間が長く、中旬までは少なめの出荷の見込み。青森産は、品質が良く、平年並みの出荷となっているものの、今後は出荷の終盤に向けて、出荷量が減少する見込み。
			132.62	139	110	107	・入荷見込量: 2,100t (90) ・主産地: 北海道 (88)、青森 (9)	・北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みに近づき見込み。

種類	7月の価格情報				生育及び価格の8月の見通し	
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格				
		上旬	中旬	下旬		
いも	さといも	344	381	470	367	<ul style="list-style-type: none"> ・干葉産は、作柄が良好で、順調な出荷となっており、平年を上回る出荷となる見込み。宮崎産は、平年並みの出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		347.9	490	430	262	
	ばれいしょ	101.61	117	142	166	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道産は、出荷開始となったものの、定植遅れと低温や少雨の影響で小玉傾向で、少なめの出荷となっている。下旬から本格的な出荷の見込み。茨城産は、生育時の少雨の影響で肥大不足で、少なめの出荷となっている。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
101.61		117	157	194	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：3,200t (101) ・主産地：北海道 (74)、青森 (14) 	

注：1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは、前年実績。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、6月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、5,249gで前年比103%、購入金額は、1,897円で前年比101%となり、購入数量は前年をやや上回り、購入金額は前年並みだった。また、小売物価統計によると、7月のキャベツの小売価格は、177円で過去5か年平均比119%、レタスは、411円で前年比134%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均を大幅に上回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成24年		平成25年			
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比	購入金額(円)	前年比
1月	4,271	1,557	4,189	1,634	4,243	101	1,669	102
2月	4,447	1,610	4,499	1,735	4,553	101	1,652	95
3月	4,797	1,765	4,584	1,851	4,961	108	1,769	96
4月	4,723	1,834	4,620	1,904	5,019	109	1,809	95
5月	5,055	1,905	4,945	1,948	5,257	106	1,861	96
6月	5,048	1,881	5,103	1,875	5,249	103	1,897	101
7月	4,421	1,691	4,386	1,675		0		0
8月	4,318	1,689	4,245	1,618		0		0
9月	4,839	1,783	4,916	1,703		0		0
10月	5,280	1,840	5,242	1,761		0		0
11月	5,030	1,630	5,039	1,602		0		0
12月	5,140	1,837	5,169	1,888		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注：過去5か年平均は、平成20～24年の平均。

主要野菜の小売価格(東京都区部)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)
1月	187	203	109	579	904	156
2月	203	204	100	555	722	130
3月	207	181	88	512	434	85
4月	248	207	83	466	426	91
5月	175	133	76	369	318	86
6月	140	137	98	338	274	81
7月	149	177	119	308	411	134
8月	138		0	414		0
9月	142		0	526		0
10月	150		0	467		0
11月	155		0	385		0
12月	148		0	495		0

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
注：1 過去5か年平均は、平成20～24年の平均。
2 平成25年7月の値は、7月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

6月の野菜の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年比77%の5万9千トン、加工野菜は、同89%の14万3千トン、野菜全体は、同85%の20万2千トン、うち中国は同89%の10万4千トンとなった。生鮮野菜は前年を大幅に下回り、加工野菜及び野菜全体は下回った。

野菜の輸入数量

区分	平成23年		平成24年		平成25年1～6月		平成25年6月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	
生鮮野菜	915,091	112	946,931	103	437,510	79	58,768	77
加工野菜	1,803,510	107	1,909,671	106	912,042	97	142,936	89
野菜合計	2,718,600	109	2,856,601	105	1,349,552	90	201,704	85
うち中国産野菜合計	1,409,984	110	1,458,418	103	662,446	89	104,058	89
中国産シェア	52		51		49		52	

資料：ペジ探(原資料)財務省「貿易統計」

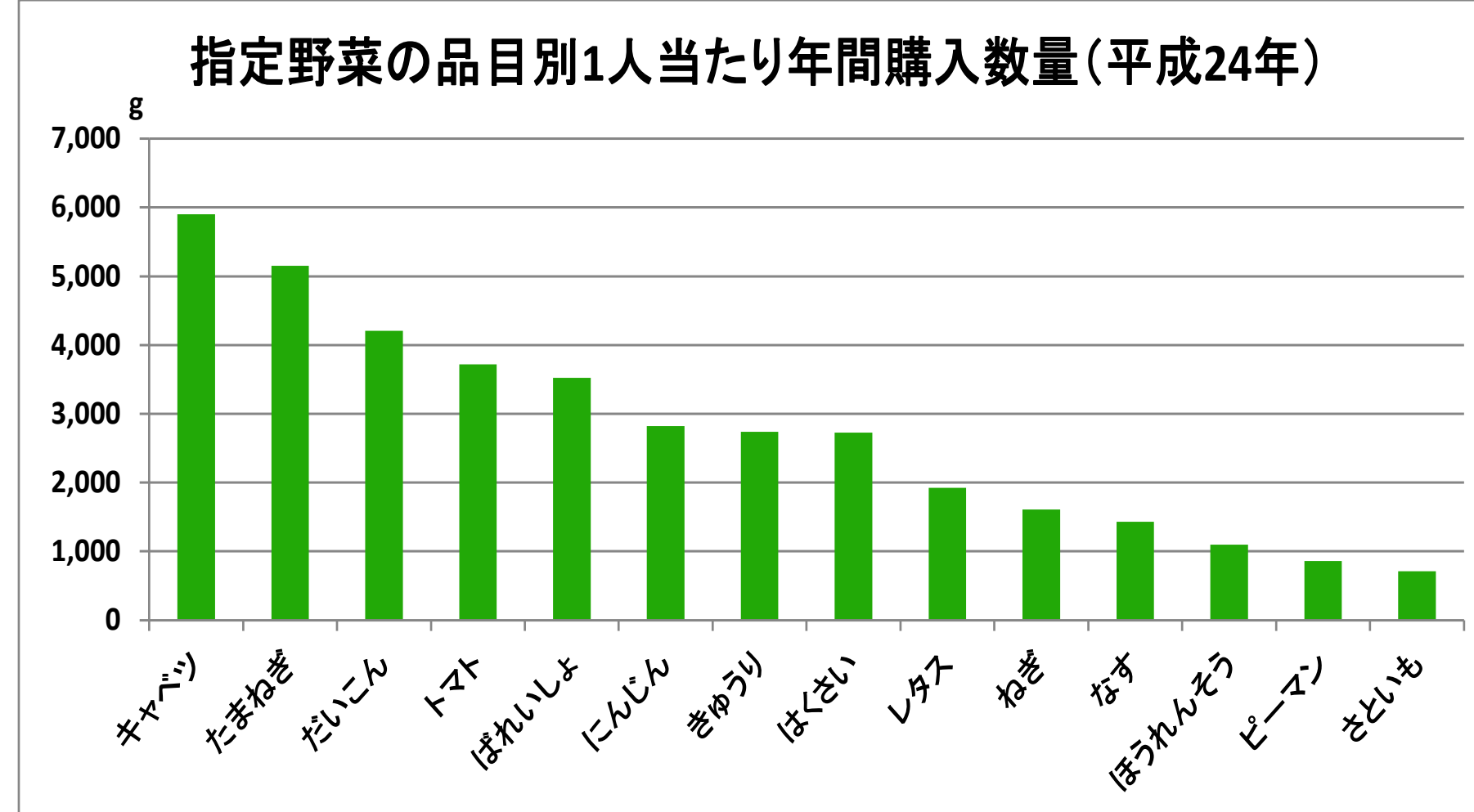
主な野菜の輸入数量

品目	輸入先	平成24年6月(A)		平成25年6月(B)		(B)/(A)
		前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	
たまねぎ	合計		33,587		26,082	78
	中国		29,055		24,262	84
	ニュージーランド		3,511		1,041	30
にんじん	合計		6,282		4,779	76
	中国		5,400		4,358	81
	ニュージーランド		423		351	83
ねぎ	合計		4,057		3,902	96
	中国		4,055		3,900	96

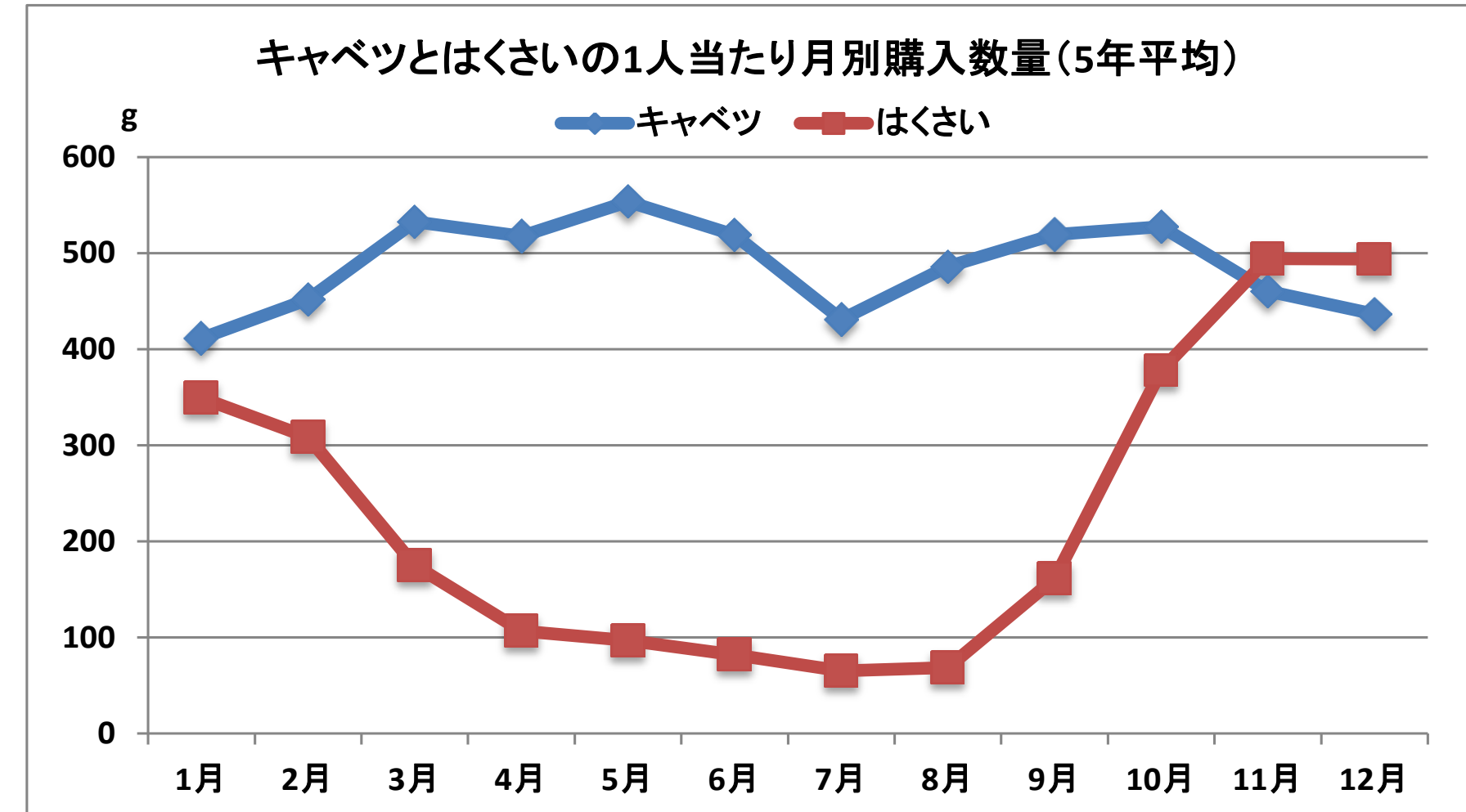
資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成25年6月は、速報値。

4 トピック — 8月2日はキャベツの日(でした) —

8月2日は、キャベツの日。8を横にすると、キャベツが2つ並んでいる形になることから、キャベツ(8)ツ(2)ということ、夏秋キャベツの出荷量が全国一の篤志農協が定めたもの。キャベツは、野菜の中で作付面積が、ばれいしょ、かんしょ、だいこんに次いで4位、出荷量が、ばれいしょに次いで2位、1人当たりの年間購入数量が1位と、重要な地位を占め、かつ、年間を通して安定した購入数量で推移している野菜である。同じ葉菜類のはくさいと比べると、1人当たりの年間購入数量は、2倍以上となっているが、キャベツがサラダやお好み焼き、炒め物、漬物等と洋中華に幅広く使われ、用途が広いことから、年間を通しての需要があることが大きいものと思われる。

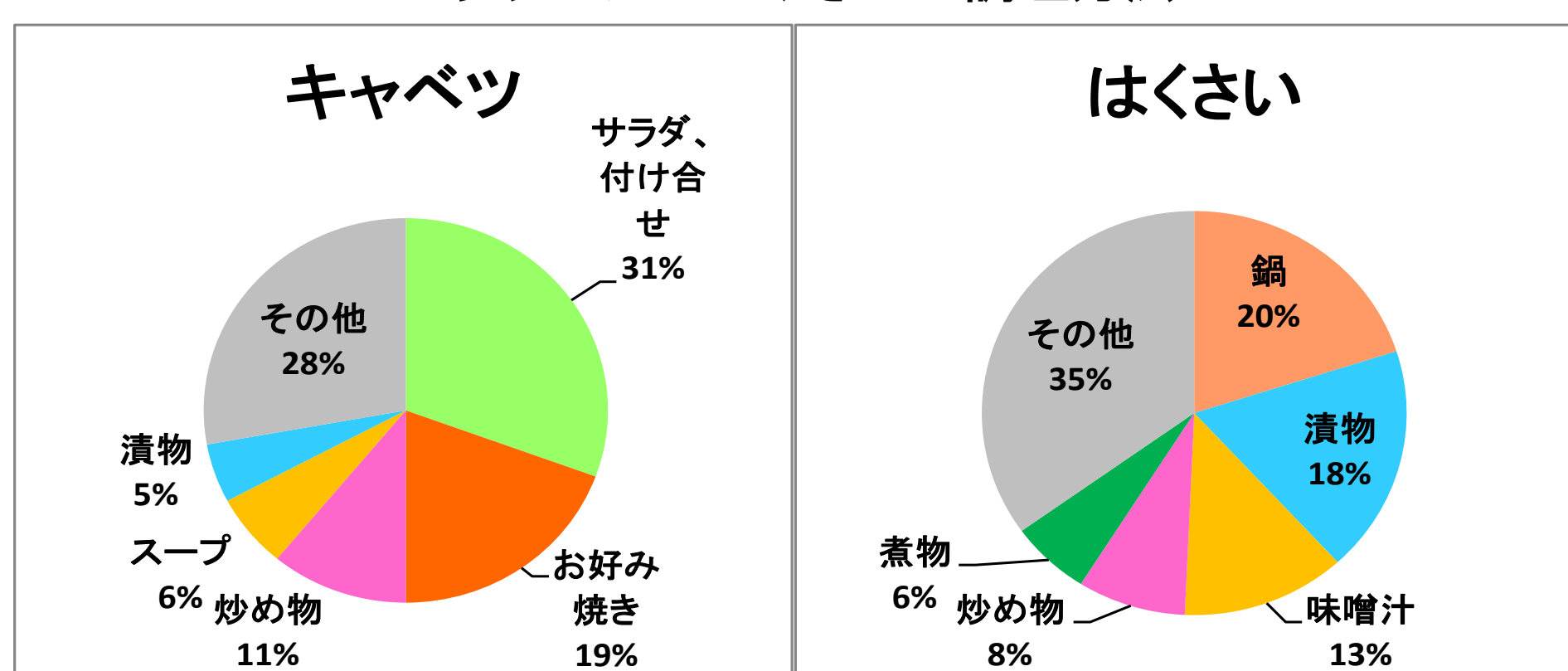


資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

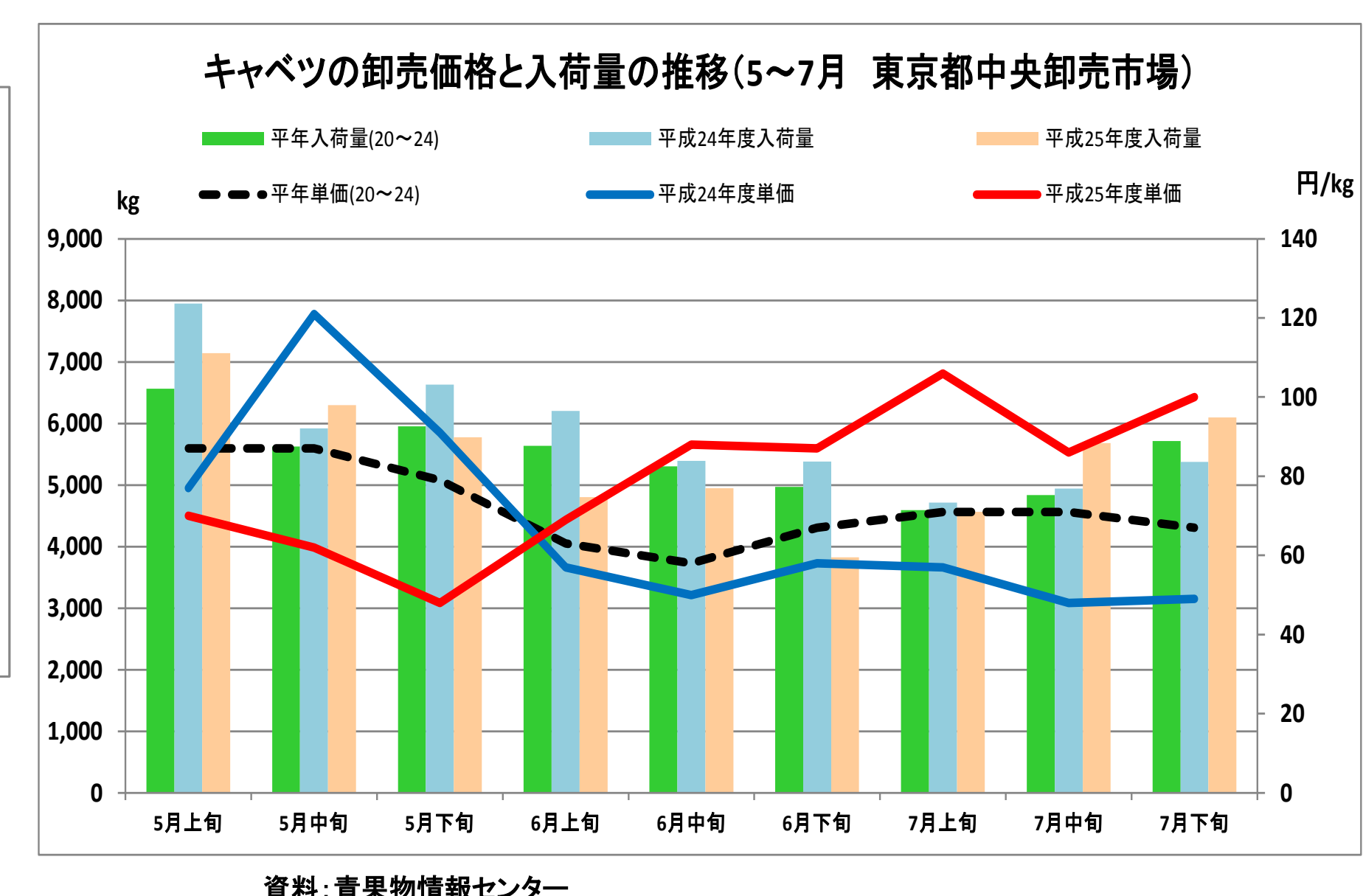


資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」
注：平成20～24年の5年平均。

キャベツとはくさいの調理方法



資料：農畜産業振興機構「野菜小売価格動向調査」に当たって調査員が買い取りした野菜を当該調査員がどう調理したかを聞いた回答を集計。調査は、主要都市の90店舗で買い取りを条件に行っており、複数回答(4～7月分)。



資料：青果物情報センター

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。